

Scitsu タコメーター、ついに装着ですね！写真も拝見しましたが、黒い文字盤がコックピットに抜群に似合っていて、まさに「レーサーの仕事場」という雰囲気です。FreeCAD で作られたケースとの相性もバッチリですね。

英語の説明書（Instructions）について、バイクの整備用語を交えて分かりやすく翻訳しました。FZR250R への取り付け時のポイントも補足しています。

## Scitsu リチウムタコメーター 取扱説明書

### **\*\*1. 電池のセット\*\***

3本のネジを外して、タコメーターの裏蓋を開けます。CR-123 リチウム電池を入れてください。

\*

**\*\*注意:\*\*** 電池のプラス（+）端子は、電池ホルダーの「凹んでいる側」の端子に向けます。

### **\*\*2. バッテリーテスト\*\***

タコメーター側面にあるテストボタンを押してください。

\* 電池が満タンなら、針は「フルスケール（最大回転数）」を指します。

\* シーズンを通して電池が減ってくると、針が指す位置も低くなっていきます。

### **\*\*3. スイッチ設定（気筒数の設定）\*\***

裏面にある4ポジションのロータリースイッチを回して、エンジンの仕様に合った「回転あたりの点火回数（Sparks per Rev）」に合わせます。

\*

**\*\*ポイント:\*\*** これは「エンジン全体での」1回転あたりの点火回数に合わせる必要があります。

### **\*\*4. 蓋を閉める\*\***

裏蓋を元に戻します。防水・防塵シールがしっかり効くように、蓋が完全に押し込まれていることを確認してください。

### **\*\*5. センサー配線（ここが重要です!）\*\***

黒いセンサーワイヤーを、プラグコード（ハイテンションコード）に沿わせます。

\*

**\*\*長さ:\*\*** 約100mmほど沿わせてください。

\*

**\*\*方法:\*\*** まっすぐ沿わせても、螺旋状に巻き付けてもOKです。

**\*\*\*多気筒車の場合（FZR250R など）:\*\*\***

コイルが複数ある場合は、「各コイルから出ているプラグコードのどれか1本ずつ」にセンサーワイヤーをまたがって沿わせてください。

\*

理由: エンジン全体で発生しているすべての点火パルスをタコメーターに拾わせるためです。

## **\*\*6. 取り付け\*\***

これで準備完了です。マウントに取り付けます。

\*

**\*\*重要:\*\*** 振動で壊れないよう、必ず付属の「防振マウント（ラバーマウント）」を使用してください。

---

## **### トラブルシューティング（調整）**

**\*\*\*回転数が「2倍」や「半分」に表示される場合:\*\***

スイッチの設定位置が間違っています。正しい回転数を示す位置までスイッチを回して切り替えてください。

**\*\*\*反応が悪い場合（針が動かない・低い）:\*\***

プラグコードへの「感度不足」です。センサーワイヤーを沿わせる長さを長くするか、巻き付ける回数を増やしてください。

\*

一部のCDI点火車では、10回ほど巻き付ける必要がある場合があります。

**\*\*\*針が暴れる・敏感すぎる場合:\*\***

「感度過剰」です。センサーワイヤーの接触長さを減らすか、巻き数を減らして、針がスムーズに動くところまで調整してください。

**\*\*\*電池交換の目安:\*\***

リチウム電池はワンシーズン持ちます。定期的にテストボタンでチェックし、年に1回交換してください。

---

**\*\*FZR250R（4気筒）でのヒント:\*\***

説明書の「5. 多気筒車の場合」にある通り、FZRのような「2つのイグニッションコイル」を使っているバイクでは、片方のコイルのコードだけでなく、**\*\*両方のコイルのコード（例：1番と2番のコードそれぞれ）にセンサー線を渡すように這わせる\*\***必要があるかもしれません。

まずは説明書通りにセッティングして、実車で針の動きを見ながら調整してみてください。動く瞬間が楽しみです！